

木の家住む住む

No.207
2023年 8月

発行：株式会社山田工務店

社長の 一棟入魂!!!

暑中お見舞い申し上げます。

猛暑が続く毎日ではございますが、お身体を大切に過ごされますようお祈り申し上げます。

さて弊社では、別事業として、(一社)全国古民家再生協会徳島第二支部を運営していますが、当協会の本部が毎月発行している「じゃぱとら」という冊子があります。古民家・空き家・歴史ある木造建築物の価値を正しく鑑定し、暮らしやすく再生させ、特色ある地域文化を深く受け継ぎながら、未来に発展させていく働きをお伝えしています。

また、再生した古民家等を地域の拠点にして、子どもたちや大人の心は豊かになり、訪れた人々は地域特有の滞在を楽しみ地域文化が賑わいとして発展をみせていく、そのような文化の未来や記憶を育てていく大事さもお伝えしています。今後徳島県においても、古民家や空き家は増える一方ですが、「空き家にさせない」ための取り組みは早いほど良いと言われています。

現在、また未来において空き家の心配がある方は、是非「じゃぱとら」を参考にしてください。無償にてお送りさせていただきますので、お気軽にお声がけくださいませ。

ちなみに私の勝浦町の実家も空き家になったのですが、現在は賃貸で町民の方に住んで頂いています。

家は人が住まなくなると、小動物や害虫の住みかとなります。また窓を開けて通風しないと、異臭やカビの原因に繋がります。



山田文夫

~ちょっとブレイク~

文：山田加容子

「連載を楽しみにしています」「面白いです」などの励ましのお声、本当にありがとうございます。

私は、元々幼少の頃から、何かを制作したり、手先を使うのが得意な方でした。いわゆる文系で、両親も共働き家庭でしたので、家の中でモソモソするのが好きでしたね。

母が迎えに来てくれるまで色んな習い事を嫌々させられ、ピアノ、書道、テニス、そろばん、塾...どれも大嫌いで続かず、性に合ったのが唯一音楽でした。

人見知りの性格からか、絵や文章で何かを伝える事は好きだった気がします。まさかこんな風に得意分野を生かせると思っておらず、今ではすっかり調子に乗って、直木賞作家にでもなれるのではと錯覚さえしてきました(笑)

冗談はさておき、不束者ですがこの先もどうぞお付き合い下さいませ。

暮らしのコラム

簡単にできる
「夏家事」

夏は油汚れの掃除にぴったりの季節に
気温が高い真夏は、油分がゆるむため、皮脂・油脂
汚れをラクに落とせます。
キッチンのコンロ周りの壁や冷蔵庫など、油が飛び
散っている場所は、この時期にお手入れをしておけ
ば、冬の大掃除がグンとラクになります。ただし熱
中症対策のため、エアコンは使用して作業しましよ
う。毎日わざわざ洗剤を使い、油汚れを掃除する時
間を作る必要はありません。使った直後の「ついで
拭き」で十分。
また、水仕事が気持ちよく感じられる夏には、家の
中の油以外の汚れも水拭きしてまわるのもおすすめです。
ドアノブや冷蔵庫の扉、スイッチ、手すりな
ど、よく触る場所は小まめに掃除をしましょう。